

INFORMATION & OTHERS

会場をピンクに染めよう!
今年は九州 2 開催です

乳ガンの早期発見啓蒙活動がすっかり定着した九州大会。今大会もレディスライダーを中心となって協力をしています。ピンクリボンの活動については、出店ブースに特設の展示があります。今大会のためにデザインした限定ステッカーやまモンとのコラボステッカーの販売もあるそうです。ぜひ



ねてみてください。
パドック内をよく見る
と IA, IB クラスのライダーやチーム関係者、取材プレスやオフィシャルさんもさりげなく協力していります。会場に着いたらピンクのアイテムを探してみてください。そしてみなさんも何か 1 点ピンクの装いをぜひ身に付けてみてください。

この活動の発祥地であるアメリカを始め、海外では様々なイベントがこの活動とコラボレーションしています。九州大会も、会場全体ももっともピンクになら楽しめます。会場に来て初めてこの活動を知った方は、出店ブースでピンクリボンステッカー手に入れて胸や袖に貼れば OK です。

次にライダー識別の基本、ゼッケンの色について、これはクラスごとに違っていて、赤地に白文字が IA1、黒字に白が IA2、青地に白が IB、白地に黒が LMX、以下ジュニアクラス



安全性能の追求!

株式会社アライヘルメット
〒330-0841埼玉県さいたま市大宮区東町2-12
TEL(048)641-3825
http://www.arai.co.jp/

は IA1 と同じ赤地に白、チャイルドクラスは白地に赤文字となっています。マシンのカラーはホンダが赤、ヤマハは青、スズキが黄色、カワサキが緑。KTM がオレンジでハスクバーナが白。IA1 山本選手がただ一人使用するゴールド地のゼッケンは、前年度チャンピオンの証。2 戰目以降はランキングトップのライダーが引き継ぐことになります。

これまで読んで????となってしまった方、入場の際にもらった公式プログラムを見てください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プロ

はスズキ全日本でのアービング選手を担当しているライダーのゼッケンと、その他のライダースーツのゼッケンを一緒に見てください。コース上を走るライダーのゼッケンとマシンの色、プロ

グラムのエントリーリストを見比べると、徐々にどれが誰だか分かるようになってくるハズ。外見でライダーの区別ができるようになると、凸凹県出身の ×× 選手は△色のマシンでゼッケンは □色の○番…と逆引きもでき、予選、決勝レースが何倍も楽しくなります。

ワクワクドキドキが一杯 パドック散策のススメ

とはいっても、ず～～っとレースを見続

けていたらさすがに疲れます。もちろんお昼休みもあるんですが、お目当てのライダーがないときは、イベントブースやパドック巡りをぜひ楽しんでください。

走行前のライダーとトイレでぱっかりとか、走り終えたライダーをパドックに訪

ねてポスターにサインをもらうとか、レー

ス以外にも楽しみはいっぱいあります。

また、各メーカー様々なイベントや展示を用意してくれています。特にホンダさんのブースには、お隣の熊本製作所で組み上げられたマシンが展示さ

れるハズ。大阪、東京モーターサイクルショーで展示されたマシンが並べられる可能性も大です。

ヘルメットやタイヤメーカーのブースもお見逃しなく。カタログはもちろんポスターなどを配布していることも少なくありません。大阪～東京と続いたモーターサイクルショーが終わったばかりなので、特性のノベルティグッズが貰えちゃうかもです。もちろんスタッフさんに性能や価格などを問い合わせるものもあり。忙しい時間でなければ必ず対応してもらいます。

今すぐ知りたい。MX の表も裏もレポートします。

全日本モトクロスのインサイドレポートを、リアルタイムで手元の携帯にお届けしている速報メールサービス「HYPER MXING」ですが、今年もやっています。シーズン料金は 3000 円。現地情報からレース後の裏話まで、モトクロス好きの期待を裏切らないサービスになる予定です。

編集後記

ワークスパドックの様子がどこか変化など気付いた方がいらっしゃるかもしれません、今年からスズキのワークスチームがなくなっていました。実はヤマハも今年はメーカーサポートという微妙なスタンスなんですね。

長年メーカーさんの活動を中心にレースを行っていただけに、メーカーの活動縮小は残念で寂しい限り。逆に言うと、これからはファン中心のレースにしなければならないし、みなさんのサポートが不可欠です。

ファンを大事にするという意味では、実は今年大きなイベントが準備されています。それはジャパンスーパークロス。40 代以上の方は覚えていらっしゃるでしょうか。かつては福岡でも行われましたよね。

いま開催に向け準備しているのは東京お台場。スタジアムではなく特設会場で仮設スタンドを造っての開催になる予定です。東京がよっていられないでくださいね。全国のモトクロスファンに集まってもらわないと、これまた成り立たないイベントなんですね。お台場なら東京駅や、羽田空港からも簡単にアクセスできます。日本中のモトクロスファンが集う一大イベントになって、モトクロスはまだまだ元気だとアピールできたらいいなと思います。

実は 4 メーカーだけでなく、ダートフリーラーさんには「ヨツバモト」という名の子供用電動サイクルも今大注目を集めています。キックバイクと呼ばれるストライダーをモーターで駆動させたもの。自転車とバイクの間を取り持つアイデア商品です。お子さんをバイクに乗せたいと思っているお父さんお母さん、ぜひ注目。

それと日曜日の式典の前に、グラン

プリライダー、イフゲニー・ボブリシェフ

制作・発行 / MC Square 木田 淑
〒970-1152 福島県いわき市好間町中好間田中62
Tel. & Fax. 050-1536-5147
E-mail: kida@mxing.com
HP: http://www.mxing.com

出力・印刷 / 東京カラー印刷株式会社
〒120-0024 東京都足立区千住関屋町5-27
Tel. 03-5284-1173 Fax. 03-5284-1174
HP: http://www.tpc.co.jp
全日本モトクロス選手権大会毎発行、無料

PREVIEW-HSR KYUSYU

IAI 成田亮の1年越し通算150勝到達なるか。ディフェンディングチャンピオン不在のIA1は誰がリードするのか。開幕戦を制してシーズンの流れを握る果たして誰だ!? Photo/K.Kida

全日本モトクロス選手権シリーズ第1戦九州大会は、4月7～8日に今年も熊本県菊池郡大津町のHSR九州で開催される。雨で始まり雨で終わる2017シーズン。激闘の中誕生した新エース山本鯨を中心、新たな戦いがいまここに始まる。IA1クラスの連覇をめざす山本と王座返り咲きを狙う成田亮、悲願の初タイトルに挑む小方誠。IA2クラスは更に混戦必至。レディスクラスの熱き戦いからも目が離せない。いきなりのクライマックス。感動はここにある。

新エース山本、V12&150勝をめざす成田の復権はなるか

全日本史上最強チャンピオン成田亮(#982/ホンダ)が最も得意してきたこそ HSR 九州。昨年は開幕第 1 レースこそ成田が勝利を飾ったものの、2-1 位で総合優勝を飾った山本鯨(#1/ホンダ)が、成田、小方誠(#2/カワサキ)との激闘を制して最高峰クラス初の栄冠に輝いた。

3 シーズン及ぶ世界挑戦を糧に、日本のエースへと成長した山本が、更なる飛躍を見せるのか。それとも V12、通算 150 勝に意欲を燃やす成田が執念で巻き返すのか。まずは 3 強のハトルに注目が集まる。

もちろんライバルたちも黙っているはずがない。シーズン中の怪我で不本意なシーズンを過ごした新井宏彰(#331/カワサキ)。スズキにワークス活動休止を受けて、マシンをホンダにスイッチした小島庸平(#44)。ヤマハのサポートを受け満を持してこのクラスにステップアップしてきた岡野聖(#30)。KTM からヤマハに移籍した星野優位(#166)。スズキから KTM にマ

シをえた池谷優太(#793)も初戦勝利を狙っている。久々に 30 名近いライダーがスタートに並ぶ IA1。国内最強ライダーを決める戦いをまずは堪能して欲しい。

能塙、古賀、小川。IA2 のリーダーシップを取るのは誰?

開幕パーフェクト V で先行した古賀太基(#922/ホンダ)に対し、第 2 戰で足を骨折するアクシデントから奇跡の巻き返しを見せ、劇的な大逆転で初のタイトルを手にした渡辺祐介(#1/ヤマハ)。その渡辺は今シーズン日本を離れ、活動の場をアメリカに移す。代わって昨年世界選手権に挑戦するも、レース中のアクシデントで大けがに見舞われた 2016 年のチャンピオン能塙智寛(#828/ホンダ)がこのクラスに戻って再起を図る。

古賀と能塙、共に九州出身の二人の間に割って入るのが、マシンをカワサキにスイッチした小川孝平(#912)。安原志(#31/カワサキ)や横澤拓夢(#32/ホンダ)、道脇右京(#33/ホンダ)に加え、ドイツから全日本に参戦してきたデイヴ・アービング

若手ながら優勝経験を持つ川井麻央(#8/ホンダ)など次世代のヒロインたちが後に控えるレディスクラス。ひたむきさとアグレッシブさを併せ持つ彼女たちのレースもぜひ間近に感じて欲しい。

あと一步のところで昇格を逃した固定ゼッケン組が勝つか、新参の若手に軍配が上がるか、エントリー数最多の国際 B 級クラスも目が離せない。ジュニア、チャイルドクラスにも要注目。応援という形で観客がレースに参加出来てしまうのがモトクロス観戦の 1 番の魅力だ。コースサイドの盛り上がりがレースを更に面白くする。大きな声とアクションで声援を送りながら、心ゆくまでレースを楽しんで欲しい。

2018 全日本モトクロス選手権シリーズ スケジュール

第1戦 九州大会	4月 7～8日	熊本県 / HSR九州
第2戦 関東大会	4月 21～22日	埼玉県 / オフロードヴィレッジ
第3戦 SUGO大会	5月 12～13日	宮城県 / スポーツランドSUGO
第4戦 中国大会	5月 26～27日	広島県 / グリーンパーク弘楽園
第5戦 九州大会	6月 9～10日	熊本県 / HSR九州
第6戦 東北大会	7月 21～22日	岩手県 / 藤沢スポーツランド
第7戦 中国大会	8月 25～26日	広島県 / グリーンパーク弘楽園
第8戦 近畿大会	9月 8～9日	奈良県 / 名阪スポーツランド
第9戦 MFJ GP	10月 27～28日	宮城県 / スポーツランドSUGO

全日本モトクロス選手権 第1戦 九州大会 開催おめでとうございます。



携帯、スマホでこのQRコードにアクセスすると、今大会のタイムスケジュール、予選結果(決勝スタートタイミンググリッド)、リアルタイムリザルト(決勝結果)の他、メーカー、チームの公式レポートやライダーのFacebookやTwitterなど、全日本モトクロス選手権シリーズに関する様々な情報にアクセスできるようになります。ぜひブックマークしてご活用ください。